

いわき民報 三好課長も収容 配炭公園疑獄擴大

三好課長も収容

配炭公園疑獄擴大

配炭公園疑獄の進展は、三好課長も収容され、疑獄が擴大している。...

小型昭電疑獄

更に課長係長にも波及か

小型昭電疑獄の進展は、更に課長係長にも波及する可能性がある。...

力の持主

三好課長疑獄

三好課長疑獄の進展は、力の持主が明らかになりつつある。...

公團総組の臨時大會

公團総組の臨時大會が開かれ、重要な決定が行われた。...

本年度出炭の目標達成の諸計画決る

本年度出炭の目標達成の諸計画が決定された。...

次の召喚者は誰か

下馬評に賑かな配炭公園

次の召喚者は誰か、下馬評に賑かな配炭公園の状況が注目されている。...

出炭目標纏る 平均四、六二八カローリ

出炭目標纏る

出炭目標が纏まり、平均四、六二八カローリを達成する見込み。...

市の棄権

防止運動

市の棄権防止運動が展開されている。...

磐城演劇愛好會

二月末コンクール案ね結成

磐城演劇愛好會の二月末コンクール案が結成された。...

山岡専務身柄釋放

身分保留のまま

山岡専務の身柄が釋放され、身分保留のまま。...

火の用心

の映寫會

火の用心の映寫會が開催される。...

大井川氏社會黨脱黨

大井川氏社會黨脱黨

大井川氏が社會黨を脱黨した。...

社會黨

本質失つた

社會黨の本質が失つた。...

身柄釋放

身分保留のまま

身柄釋放、身分保留のまま。...

火の用心

の映寫會

火の用心の映寫會。...

協賛會も

自立團の

協賛會も、自立團の。...

眼科専門 安田眼科醫院

眼科専門

安田眼科醫院、表町電一〇四番。...

急募

藝妓五、六名

急募、藝妓五、六名。...

本院の牛豚肉

平澤前 緑屋商店

本院の牛豚肉、平澤前 緑屋商店。...

入院室完備

中田醫院

入院室完備、中田醫院。...

長岡染工場

染物は是非

長岡染工場、染物は是非。...

阿康薬局

阿康薬局

阿康薬局、小倉町。...

松田醫院

放射線科

松田醫院、放射線科。...

頭痛ツカレ

二日酔い胸やけ

頭痛ツカレ、二日酔い胸やけ。...

小倉町

電話四三三

小倉町、電話四三三。...

平第一小學校 少年ク、レポート

冬のお休みには何をしたか
大人達の贈答や強迫とかさし、事件をよそに各地のよい子供達とそこの組織を通して明るい活世の再建に可能な心を傾けて、この冬も平第一小學校生徒五百四十三名で組織する各町内単位の「少年クラブ」がこの冬休みを利用して、種々の明るい仕事を行ったか、このレポートがその概要とまとめたので、校長武富武夫氏にその評をして頂き紹介することとした。

文字通り社会科実践
夜廻りやネズミ退治競争等々
【長橋町少年クラブ】
て手傳をし、重い引越箱を、つんであつたイットコ板を五回も往復した。

高校統合を衝く
市郡校長會から批判の一矢
高等學校統合同議は去る八日、あまた各町長及び市郡校長會の協賛を得て、市郡校長會から批判の一矢となつて行つた。この統合同議は、市郡校長會から批判の一矢となつて行つた。

統合は試験地獄を再現
平地方は既に實質的に實施
十九日湯本にひかれた年及び郡下各町校長會協賛は、この統合同議を、市郡校長會から批判の一矢となつて行つた。

減すよりも 擴充を
市郡校長會で設置を決定
【別項】十九日湯本本高校で開かれた市郡校長會で、この統合同議について、市郡校長會で設置を決定した。

報告聴取
統合同議を中心
統合同議を中心として、市郡校長會で報告聴取が行われた。

本年の供米の割當適切化陳情
夏村農民大會が決議
夏村農民大會が、本年の供米の割當適切化を陳情した。

電話公債なれば どの位架設するか
平市當局が希望調査
平市當局が、電話公債の架設に関する希望調査を行った。

統合同議が再燃
奈良和歌山では
奈良和歌山では、統合同議が再燃した。

キモノ洋服 福屋
お知らせ 五郎八 開店
おてん、焼鳥、ミルクその他
皆様の五郎八(是非おいで下さい)
女中さん 五郎八 一回年
募集 五郎八 一回年
湯本町(湯通)電話二三四

カメラ
高價買入
平市三日本通
タナカ
電話五七六

放射線科
谷口科
平市二丁目
電話二二七

日本一のプラザ
シシヤ
平市二丁目
電話二二七

石城郡警備隊
織内農機店
電話湯本一四八

正時計
誠光
平市銀座街 電話988

三三三
石川シンソウ商會

農村機械化は一流品にて
正金商會支店
湯田商會
平市湯田町

金成醫院
平市湯田町 電話八二六
醫師 諸橋 一郎

冬のお休みには何をしたか
大人達の贈答や強迫とかさし、事件をよそに各地のよい子供達とそこの組織を通して明るい活世の再建に可能な心を傾けて、この冬も平第一小學校生徒五百四十三名で組織する各町内単位の「少年クラブ」がこの冬休みを利用して、種々の明るい仕事を行ったか、このレポートがその概要とまとめたので、校長武富武夫氏にその評をして頂き紹介することとした。